

## 通信六篇

ドイツにて 伊藤猷典

### フライブルグ市々内小學校參觀

七月二十五、六、八日の三日に互りフライブルグ市内小學校 Emilie-Thomas schule (男學童のみの小學校) Hilda schule (女學童のみの小學校) Lessingschule (男女學童混合) の三校を參觀した。知りえた主要な事項を列擧するに次のやうである。

- 一、各教室の正面中央には十字架が掲げてあり、黒板は教壇の兩側にあつたこと。
- 一、エミールトーマスシュールでは校長自身が宗教々授をなされてゐるのを見たこと。
- 一、レフシングシュールに附屬してゐる補習學校にては舊教の僧侶が僧服を着て教室に勤務してゐるのを見たこと。
- 一、教授法としては勞作教育法が多く採用されてゐるが、まだ定説としては認められてゐないこと、某校長

が説明してくれたこと。

一、隨意科としての佛蘭語の授業に出席する兒童を可なり多く見受けたこと。

一、當市の大學でコーン教授の心理學演習の時間に常に顔を合せてゐた某氏は一方では小學校が幼學年の學級擔任者であることを知つたこと。(序でに申しませんがコーン教授の心理學演習の時間は午後の六時から七時半迄といふ日本の大學では一寸見當らない遅い時間でした。)尙ドクトルの肩書の持主が、こゝにも小學校教員を勤めて居り、その授業を參觀したこと。

一、ヒルダシュールでは全職員約三十名の中男子は僅かに四名にして校長も女子であつたこと。

一、食物の強制的供給、學校醫は一學期に三回宛一般兒童の體格を検査し、發育不良のものは、毎日必ず十時の休憩時間に牛乳を飲まなければならぬやうに規定されており、強制的であるだけに代價は大部分市から補助され、毎日牛乳よりツトルミパンを供給して貰つて、一週間に僅かに二十ペンニヒ(日本

の約拾錢を支拂へばよいやうになつてゐること。

一、兒童の約二割は靴も靴下もなく跣足でゐたこと（夏だから暖いためでもあらうが）、服地も悪く、洋服は名のみやうな服を着てゐる兒童も相當にあつたことは本年二月瑞西のチューリヒの小學校參觀の際小さな兒童の七、八割迄が美しい腕巻時計をしてゐる（當地は時計の産地であるからでもあらうが）生活振りを見た時の感じを思ひ合せて見て、氣の毒な感じがしたこと。學用品の無料供給を受けてゐる兒童も相當多いやうに見受けたこと。

一、前記の補習學校で、舊教の僧侶から訓誡され、さめも泣いてゐた小年こそは（小年云つても僕の背丈よりも大きかつたが）某料亭に奉公してゐる料理見習人でホームシックを起してゐるのだと聞いたとき、こゝにも亦逃れ難き人間苦のあることを知つて同情の涙禁じえなかつたこと。

一、校舎の建築（大戰前に建てられたもの）は或る點に於て京都大學の建築よりも凝つてあると思はれる點

が多々あつたこと。

一、學校參觀には文部大臣の許可を受け、更に市視學の指揮を待たなければならぬといふ煩雜さには困つたが、校長が多忙の時間を割つて懇切丁寧に案内してくれたことによつて忘れ難いよい印象を受けたこと。

#### ストラスブルグ見學

この地有史以來佛領たること二回、獨領たること二回歐洲大戰終了後三度目に佛領となつた地である。家庭で獨逸語を用ひる獨逸系の兒童は學校に於て佛蘭西語を如何様に教へられてゐるか、愛國心の養成方法如何を知るべく七月十二日に當市へ向つた。

學校の學習時期は日本と略同様だらうこの想像からまだ授業はやつてゐるだらうと思つて行つたのであつたが遺憾ながら夏學期の最後の日で、而も試験こそしてゐる授業はないものことに目的は全然外れた。けれどもレストーラン *Kaumer Zelle* の主婦の好意によつて紹介されたステファン人文中學教授 *Dr. Schmitt* 氏並に新教人文中

學校長某氏を通じて大要次のことを知った。

語學の教授は直接法に依つてゐること。佛國語の教師は最後の用意として獨逸語を解するの必要があり、勿論知つて居なければならぬが、教室に於ては全部佛語によること。佛語によつて委曲を盡しても尙又直觀に訴へてもまだ充分でない場合にのみ獨逸語を用ひてゐると。

愛國心の養成法は遺憾ながら徹底的に匡ふことは出来なかつた。宗教によることも言はれ、兒童が自然に知ることも言はれ、國籍が屢々變更しては養成方法なきないことも答へられ、結局當地で用ひつゝある修身書、歴史教科書を求めた以外に確たる方法を知る道はなかつた。

だがステグリ氏が、獨逸國領時代の手によつてなされた大學、市の公園、郵便局、新市街なきを特意けに案内されたのを見た時、又郵便局の入口の上部外側に飾られた石像獨逸の三皇帝の首が佛領となつて後佛人の手によりて壞されたことを語られた時の表情を見たとき、新領土に於ては出来うる限り善政を施すべきものでなきか、例令國籍は轉ずることあつても遺された偉業は永遠にそ

の國土に住ひ人心を收縦するのではないかと思はれた。(序でに申しますが前記ステグリ氏の父親の時代は佛領であり、ステグリ氏は獨逸領時代にも教師として働き、佛領となつてからも同様に働いてゐられるのです。)

ストラスブルグ見學について猶申すべきことが二つあります。一はグーテンベルグが一四二四—四四年迄この地に生活し、その期間に印刷術を思ひついたこと、従つてそれを記念するための銅像が立つてゐること。今一つは、世界に於ての人文中學の創設者ジョン、スツルムの創設にかゝる人文中學が Gymnasium Protestant という名で今猶この地に繼續してゐることです。スツルム當時に建てられた建物は兵火に罹つて今はなく、スツルム個人に關するものも肖像畫以外に何もなかつたことは何か物足りない感がありました。校長からスツルム並にこの學校についての著書二部を恵まれたが、二冊共に既に日本へ送り手元になく明確に書名を記しえないことを遺憾に思ひます。

ホフマン教授

當地にて哲學研究中の九鬼周造氏を介してホフマン教授より氏の著

Die Philosophie der Vorsokratiker

Pestalozzi : Vortrag zur Gedächtnisfeier 1927.

の二部を恵まれたことにより寡聞なる自分は始めてハイデルベルグ大學に教育學の名教授のあることを知りました。

一書の中前者は自分の専門外だから暫く差控へます、後者は菊版で僅か十五頁の小冊子ですがペスタロッチの思想が當によく要約されてあるのみならず、今まで埋没されてゐた寶玉が燭眼によりて抽出され、更に教授自身の該博なる知識によりて巧に醸出され、よむからに氣持のよい本です。

フィッシャー教授

Aloys Fischer 教授が教育學概論を書かれる豫定になつてゐることは數年前から雜誌の廣告なきによりて知つてゐるので、目下はされ程に進でゐるのか、又どんな内包を盛られるのかを知るべく、九月上旬ミュンヘンに氏

の寓居を訪ねた。

右の書は來年には出版の見込だき語られ、「内容の主要綱目なりを承りたい」を申出でたら追つて手紙で通知するを申されましたが、未だ通知に接しないのを遺憾に思つてゐます。

訪問の當夜晚餐に招かれ、教授の宅で令夫人を中心に教授を以て令息二名と共に卓を圍み、食事をなしつつ會談したのであつたが、當地方の習慣として主婦が中心になり、絶間なく話題を出されるので、會話の大部分はその方面に集中され、自分に取つての肝心の教育學上の問題に觸れることが極めて少なかつたのは残念でしたが、教授は歐州大戰後社會狀態の急激の變化のために社會學の方面にも非常の注意を拂つてゐられること、又多方面の心理學に注意されてゐることを知りえたこと並に最近に氏のものにされた單行本や雜誌の論文教篇を恵まれたことは自分にきりては豈外の幸福でした。論文の内容はまだ讀みませぬのでその長短は知りませぬが參考のために左に列舉致します。

1. Aufgabe und Entwicklung des deutschen Schulwesens nach dem Kriege 1916.

1. Die Kulturellen Grundlagen der Erziehung 1925.

1. Entwicklung, gegenwärtiger Stand und Pädagogische Bedeutung der psychologischen Tugendforschung (Sonderdruck aus Tugendkunde und Schule Herausgegeben vom Zentralinstitut für Erziehung und Unterricht.).

1. Der Lehrer als pädagogischer Berufstyp. (Sonderdruck aus dem Buch „Der neue Lehrer“)

1. Soziologie, Sozialwissenschaftlichen Sozialpsychologie. (Sonderabdruck aus, Archiv für die gesamte Psychologie XLIX. Band 1. 12 Heft.) 1923.

1. Familie und Gesellschaft. (Friedrich Mann's Pädagogisches Magazin. Heft 1121) 1927.

1. Die Entwicklung der deutschen Schulgesetzgebung seit 1918.

1. Die Humanisierung der Berufsschule (Sonderdruck aus Berufs- und Fachschule. Jahrgang 1927.)

1. Unsere Zeit und die Mission der Pädagogik.

1. Georg Kerschensteiners Leben und Pädagogisches Werk.

1. Religionspsychologische Untersuchungsmethode im Dienst von Kinderforschung und Pädagogik. (Zeitschrift für Pädagogische Psychologie. Sonderdruck)

1. Der Gestaltwandel der deutschen Schule. (Die Arbeitsschule Sonderdruck)

1. Die Stellung des Arbeitsgedankens in der deutschen Schulreformbewegung (Die Arbeitsschule. Sonderdruck)

1. Der Rundfunk der Dienste der Volksbildung (Die Arbeitsschule. Sonderdruck)

尙右の外に同氏が「ラッシュエンスタイナー」キツキナガ  
ー、ブルムカー等と共に共同に出來た「Die Zukunft des Tugend-  
schutzes 1918」の編纂に、本の編纂に於いてのそのその  
三編纂に於いてそのそのその

1. Über das Verhältnis des Tugendeschutzes zu den Bestrebungen für Tugendbildung, Tugendpflege und Tugendwohlfahrt.

## I. Tugenschutz und Erziehungszustand.

## 1. Der ökonomische Tugenschutz.

## ハツキ教授

土耳其に於ての教育の狀態、教育研究の趨勢を知るべく、スタムポール(Stambul)大學教授ハツキ(Smail Hakkı)氏を訪ねたのであつたが、教授は獨逸語が不得手で佛語ならば話されるのであるが、自分は丁度其の反對であるため、又自分の備つた通譯も専門の談になるに通譯し兼ねたため、充分に聞き取りえなかつたことは残念であつたが又聞き取りえた若干の部分も事新らしく紹介する程の價值あるものではなかつたが、氏が單なる外國思想の直輸入でなくして、土耳其の立場から組立て、行かうに努められ、自己の私信に堅固なる點に於て將來有爲の青年教育學者のやうに思はれた。尙又氏が親切に研究室を案内され、休校中のため閉められてあつた圖書館を自分のために態々開かして多數の珍奇の書を見るやうの便宜を計つて下さつた好意を感謝してゐます。

聞けば同教授は來年頃日本へも行かれるとか、若し氏

が訪問されたならば氏のために出來うる限りの便宜を御與へなされんことを讀者諸彦に御願致します。讀者諸彦が若し別項に記した「君府管見」を御讀了の上、右教授と會談なされたならば得る所大でないかと思ひます。

## 君府管見

コンスタンチノールブルが東羅馬帝國が一千年間都してゐた地であること、亞歐兩大陸の接觸點であること、二點から、自分達日本人に教へらるゝこと少なくあるまいとの好奇心に驅られ、八月中旬、オービド流竄の地コンスタンツアから船にて黒海を渡り、ボスボロス海峽兩岸の風光を愛でつゝ、且つ歐亞兩岸上に並ぶ家屋の多少、建築の大小、優劣を比較しつゝ、この地に渡つた。

東羅馬帝國が残した遺跡の探究に専門外のことであるから暫く措くとして、自分の目指した第二點に就いては次のやうな收穫があつた。

亞歐兩大陸の文化的分布が直ちに地理的分布に並行するものと思つたのは自分の誤りであつた。矧んや西歐文明と東亞文明との交渉なきこの地に於て求むべくもない

けれども土其古人が西歐文明を同化しつゝある様子は、地理的に接近してゐるだけに、又時間も早かつたゞけに同様の方向を取りつゝある我等日本人にこりて積極的に又消極的に參考に資すべき點多きやうに思はれた。自分の見た點を日本大使館書記官内藤文學士の談話を綜合して大要次のことを知つた。

一、木造建築から石造への推移、スタンボールの中心地方は凡て歐式石造であるが、周邊地には多數の木造建築が存し、而もそれが漸次墜退されつゝある様子が明瞭に見へたこと。

一、坐する風習より椅子にかけける風習に轉じたこと。君府にても八十年前迄は、且田舎にては現今にても坐する風習なりしが、今は椅子にかけけることに轉じたこと。街路上に見る婦人の脚の西歐人に比し著しく太短く見ゆるのは昔坐する習慣なりしたためなり。

一、言語が佛語に變じつゝあること。上流社會にては佛蘭語を話すこととなり、母國語を用ひるものは下賤を見做れ、出版物又大部分佛語を用ひつゝあること。

一、女子尊重、電車内にて前六席は女子のための席であり、この席に先きに男子坐すことも、後に女子來らば男子はその席を去らなければならない。

師範學校建設の際にも男子のためと同時に女子のためにも設けたること。

一西歐文明を取入れることが早く、(地下電車も三十年前に設けしこと) 語學が達者、反面に消化力が乏しいこと。

一、信仰は共和國になつてから後もまだ自由でなく回教に一定され、異教徒は限定された地域内に於てのみ住みう。國民一般に信仰は堅固、詐欺取罪は少ないこと。

一、現實主義であり、貪慾、怠惰、早熟であること、ダークネルス海峽兩岸の殆ど凡てが禿山であること、市中のカフェーの何れも畫猶滿員、將棋、カルタなどを戯れる様を見たとき、機械を用ひうべかりし場合に猶身體を勞役する苦役者の街上に多きを見たとき、現實主義であり、遊惰であり、頭を用うることの少ない國民である

この内藤氏の言が裏書されたやうに思はれた。

一、精<sup>州</sup>内容の方面の調査は困難であり容易に連断し難いことであるが、少くも自分の専門に關する範圍では大學の研究室や圖書館の内容、前記ハツキ教授の談話の内容から推測すること、日本の方がこの國よりも遙かに進んでゐるやうに思はれた。